

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 7 年 2 月 21 日

多治見市議会 議長 様



会派名 公 明 党

8 番議員 氏 名 片山 竜美

質問題名	空き家活用の更なる充実で、 地域で活躍する人財の移住定住と持続可能なまちづくりの推進を！
質問要旨	人口減少の中「空き家・空き店舗」（以降総称して「空き家」と表記）対策は喫緊の課題である。 経済建設常任委員会で姫路市に、会派として糸島市で空き家対策・活用を視察してきた。他の自治体も空き家対策に苦勞しており、その中で必死に取り組んでいる。多治見市も例外ではないが、他の自治体に引けを取らない政策を展開しているとも感じた。 一方で、視察先では「空き家対策でまちづくりや移住定住の推進」「人財が地域で活躍できる空き家対策」を学んだ。今後の更なる空き家活用施策により「地域で活躍する人財の移住定住」そして「人が人を呼ぶ持続可能な移住定住施策」を展開できるのではないかと考え、空き家活用を中心に以下の質問や提案をする。
質問項目①	空き家活用について ・「空き家再生補助金」「空き家・空き地バンク」や県外でのプロモーション活動、ホームページ作成等の施策について、これまでの成果をどう分析しているか。 ★空き家バンク登録を増やすため、登録を条件として、空き家の売却や賃貸の相続登記や家財撤去の費用を補助する等の制度を取り入れてはどうか。
質問項目②	空き家にしないための取組について ・「空き家セミナー・無料相談会」や「マイホーム借り上げ制度」の成果は。 ★わが家を空き家にしないためのノートを作成し、全戸配布してはどうか。
質問項目③	移住定住政策について ・県外からの移住者に対する「移住支援補助金」の成果について、特に空き家への移住を中心に伺いたい。 ★移住者が地域で活躍する人財にするために、居住誘導地域を案内するコーディネーター的な役割を担う方を募り、移住定住コンシェルジュと協力して地域の住民につなげる仕組みをつくってはどうか。
質問項目④	空き店舗対策について ・多治見ビジネスプランコンテスト（通称タジコン）のグランプリ受賞者以外のファイナリストに対してどのような支援をしているか。 ・タジコンやさかさま不動産を手がけ、空き店舗対策をふくめたまちづくりを推進している「多治見観光協会（たじみ DMO）」とは、どのような連携や支援をしているか。 ・市において空き店舗対策はどのように取り組んでいるか。
質問項目⑤	
質問の相手方	都市計画部長 企画部長 経済部長